

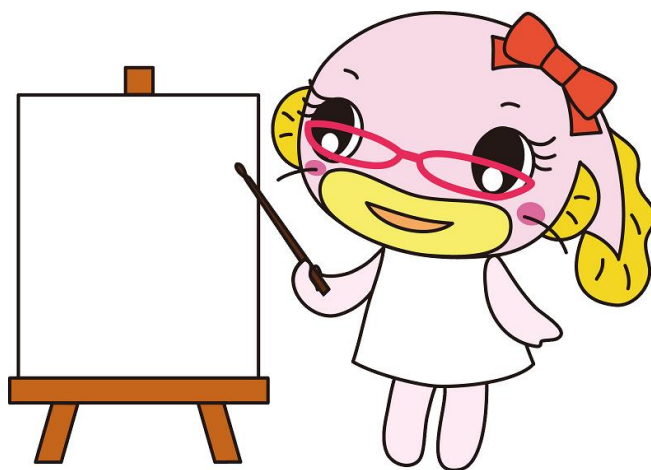
---

令和5年度吉川市

# 主な事業のあらまし

---

市民の皆さまからお預かりしているお金の使い道などを  
わかりやすくご説明します。



©yoshikawa



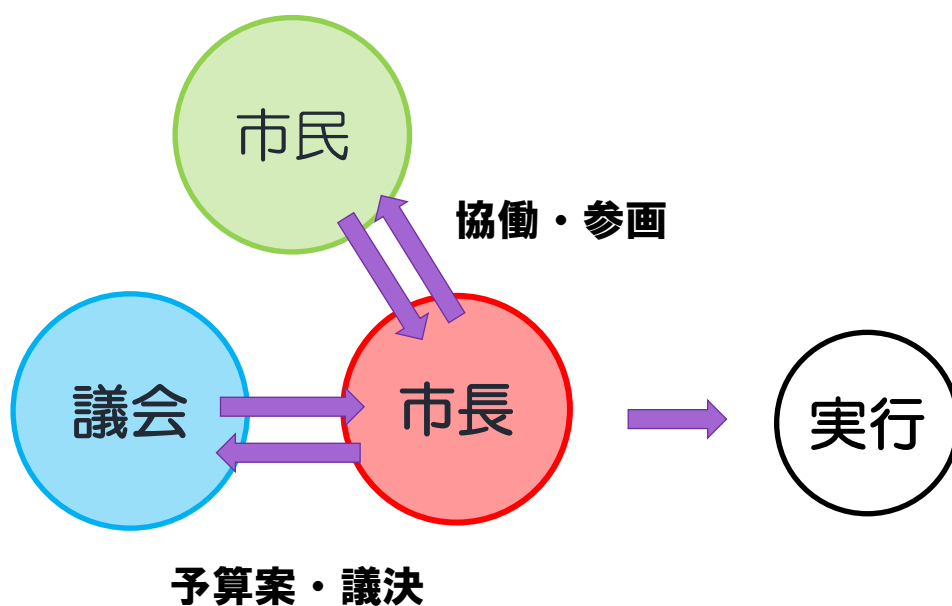
吉川市

## Q そもそも、予算とはなんですか？

A. 予算とは、1年間の収入と支出を見積もることです。  
新しい年度が始まる前に、1年間(4月から翌年3月まで)にどのくらいの収入があるか、その収入を元にしてどのような事業を行うかを計画し、その費用を見積もります。

## Q 予算はどのように決まるのですか？

A. 市民の皆さまとの協働により策定した「総合振興計画」を踏まえ、市の担当部局が1年間の事業計画を検討します。市長は、担当部局との調整を重ね、予算案としてまとめ、市議会に提出します。  
市議会は、提出された予算案を審議した上で、議決によって予算を決めます。



Q

令和5年度の吉川市の予算は？

A.一般会計、特別会計、企業会計の予算を合わせると、

**482億7,441万円**になります。

**一般会計**

**254億** 2,500万円

**特別会計**

**173億** 6,517万円

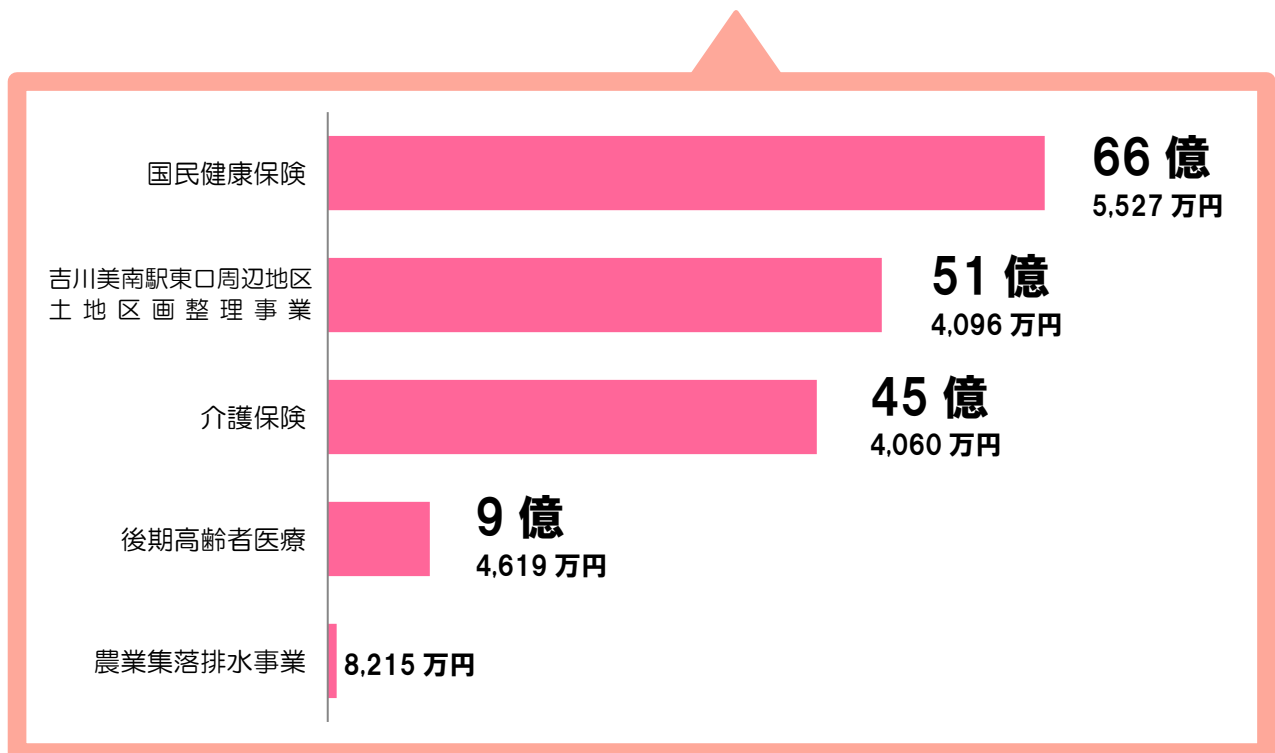
**公営企業会計**

**54億** 8,424万円

福祉、教育、道路整備などを進める基本的な行政サービスを行うための会計です。

特定の目的の会計で、吉川市には5つの会計があります。

市が経営する企業の会計で、吉川市には水道事業会計、下水道事業会計があります。

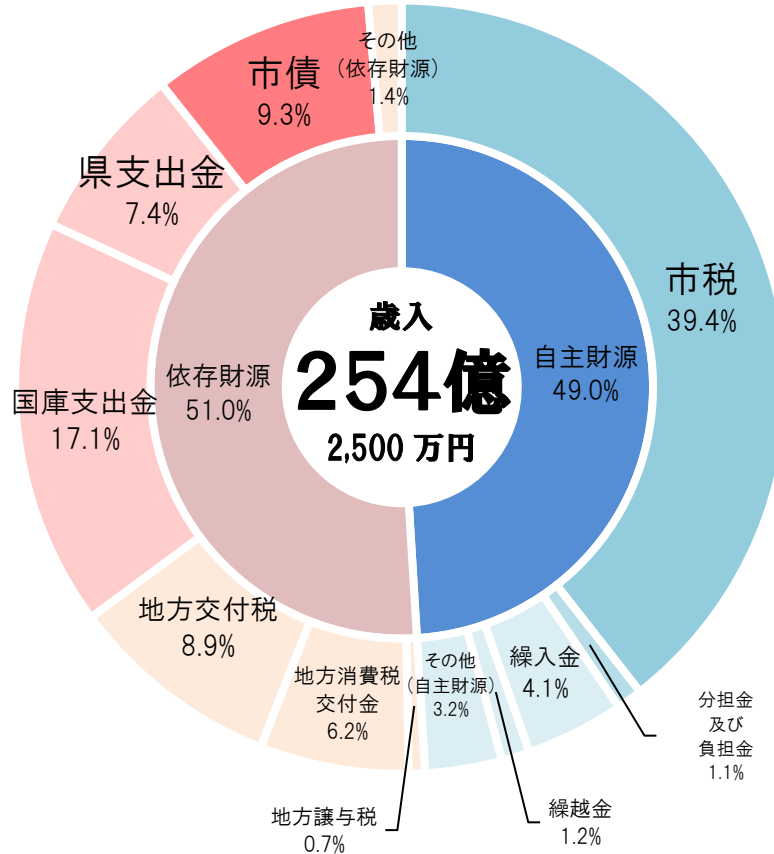


※公営企業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額を予算額としています。

※本文及びグラフの数字は1万円未満を四捨五入しているため、予算書の予算額と一致しない場合があります。

## Q 令和5年度の吉川市の歳入は？

A. 一般会計の歳入には、市税や国・県からの支出金、銀行などからの借入金や施設の使用料などがあります。



### ～依存財源～

吉川市が国や県などに依存するかたちで調達する財源です。

#### ●市債 23億5,820万円

大規模な工事などの事業を実施するために、国や金融機関から借り入れるお金です。

#### ●国庫・県支出金 62億2,461万円

皆さんが国や県に納めたお金の一部が、特定の目的を達成するために地方公共団体に交付されます。

#### ●地方交付税 22億6,300万円

皆さんが国に納めた税金の一部です。一定の割合に応じて地方公共団体に交付されます。

#### ●地方譲与税 1億7,250万円

国税として徴収した特定の税目の収入の一部が、一定の基準に基づいて地方公共団体に譲与されるものです。

### ～自主財源～

吉川市が自らの権能に基づいて自主的に収入できる財源です。

#### ●市税 100億2,562万円

市民の皆さんから吉川市に納めて頂く税金です。市民税、固定資産税などがあります。

#### ●分担金及び負担金 2億7,346万円

事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただいているお金です。

#### ●繰入金 10億5,170万円

一般会計と特別会計の間で相互に資金運用するためのお金や、各種基金(市の貯金)を取り崩して使うためのお金です。

#### ●繰越金 3億円

前年度の支出を差し引いて余ったお金を、今年度の財源とするために繰り越した分のお金です。

## Q 令和5年度の吉川市の歳出は？

A.歳出は12の目的に分けられ、一般会計 254 億 2,500 万円のおよそ 43.2%が児童手当や保育委託料、障がい・高齢福祉サービスなどの民生費で 109 億 7,285 万円となっています。また、性質別など違う角度から見ることで、吉川市の現在の状況などを知ることができます。

### ●議会費 2億 1,238 万円

市議会の運営に必要な経費です。

### ●総務費 21億 3,513 万円

市役所の全体的な仕事に必要な経費です。

### ●民生費 109億 7,285 万円

社会福祉や児童福祉に必要な経費です。

### ●衛生費 17億 9,485 万円

健康維持や環境保全などに必要な経費です。

### ●農林水産業費 2億 7,476 万円

農業の振興や普及に必要な経費です。

### ●商工費 1億 5,620 万円

商工業の振興などに必要な経費です。

### ●土木費 31億 4,148 万円

道路や公園などの整備などに必要な経費です。

### ●消防費 12億 3,492 万円

減災、消防などに必要な経費です。

### ●教育費 33億 7,534 万円

学校教育、社会教育などに必要な経費です。

### ●公債費 21億 1,190 万円

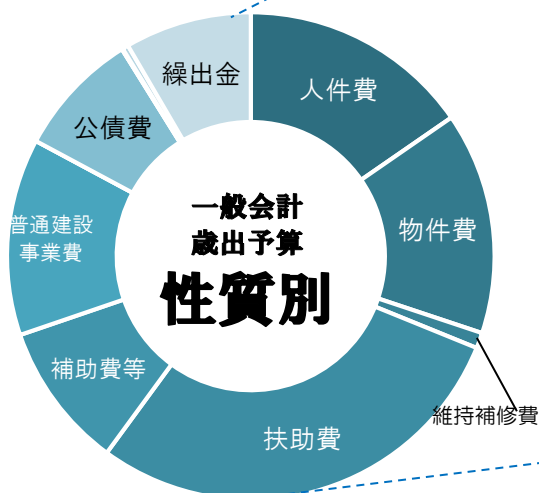
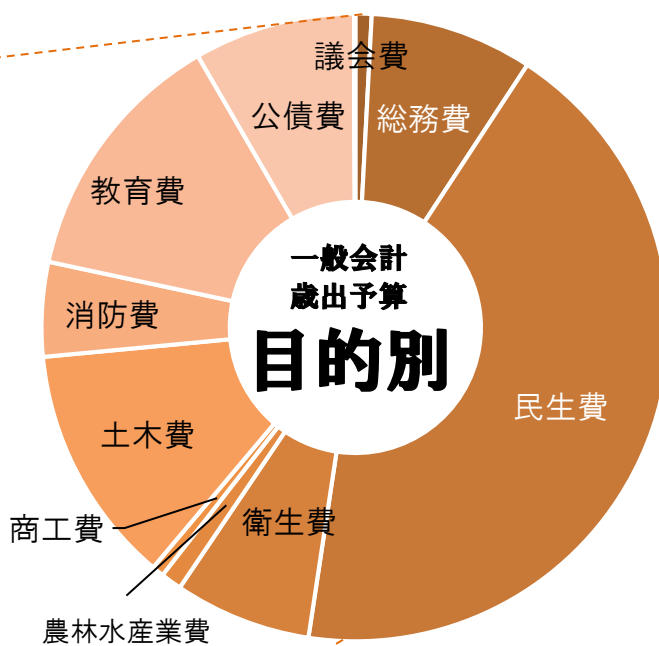
借入金の返済に必要な経費です。

### ●諸支出金 19 万円

ほかの支出に含まれない経費です。

### ●予備費 1,500 万円

緊急の支出に充てるために必要な経費です。



### ●人件費 39億 1,001 万円

職員の給与などに係る経費です。

### ●物件費 37億 4,605 万円

光熱水費、消耗品費、通信運搬費、委託料などの経費です。

### ●維持補修費 2億 6,319 万円

市が管理する施設等の効用を維持するための費用です。

### ●扶助費 73億 5,097 万円

子育て支援、障がい者支援、生活保護などに係る経費です。

### ●補助費等 24億 6,607 万円

団体への補助や一部事務組合に対する負担金などの経費です。

### ●普通建設事業費 33億 2,257 万円

道路や学校の改修など都市基盤の整備に係る経費です。

### ●積立金 18 万円

### ●貸付金・出資金 1億 155 万円

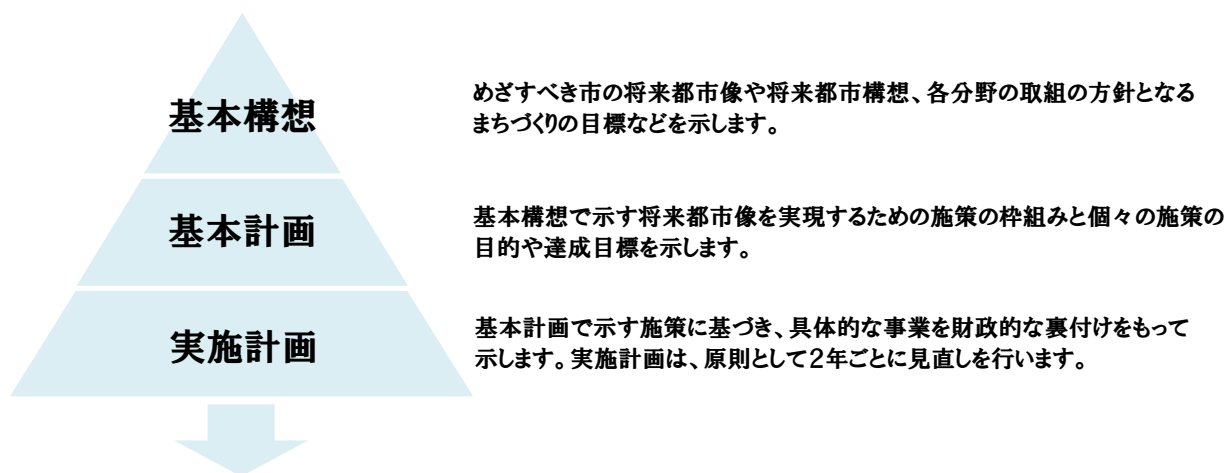
### ●公債費 21億 1,190 万円

### ●繰出金 21億 3,751 万円

### ●予備費 1,500 万円

## Q 令和5年度はどのような事業を行う？

A.吉川市で令和5年度に行われる事業の一部を、第6次総合振興計画・前期基本計画の重点テーマごとにご紹介します。総合振興計画とは、吉川市のめざすべき将来都市像「幸せつながる みんなのまち よしかわ」を実現するため、市政運営の長期的な指針を示すことを目的として策定するもので、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成しています。



まちづくりの目標として設定する施策体系のうち、前期基本計画において特に積極的かつ分野横断的に推進すべき取組を「重点テーマ」として位置付けています。

### 第6次総合振興計画前期基本計画施策体系

- |                            |                                 |
|----------------------------|---------------------------------|
| I 人を育むまちづくり <こども・学び部門>     | V パートナーシップによるまちづくり <パートナーシップ部門> |
| II 支え合う健やかなまちづくり <健康・福祉部門> |                                 |
| III 安心と賑わいのまちづくり <生活・産業部門> |                                 |
| IV 快適で持続可能なまちづくり <都市・環境部門> |                                 |

### 重点テーマ

I 命を守る

II 子どもの笑顔未来につなぐ

III 誰もが輝くまちをみんなで創る

IV 価値を高め、次世代に継承する

## ●災害への備え

- 「栄小学校」を舞台とした減災プロジェクトやHUG訓練など、市民が主体となった実践的な訓練を実施するほか、市民が自ら災害時に必要な情報を取得できる「減災アプリ」、「登録制メール」、「防災ツイッター」などの情報配信ツールをさらに周知、啓発してゆきます。また、吉川松伏消防組合への積極的支援をはじめ、「公助」の連携もさらに強化してゆきます。
- 小中学校の体育館並びに総合体育館においては、夏場の熱中症対策や、冬の寒さに対応するため、空調設備の整備を進め、災害時などにおける体育館の機能向上を図ってゆきます。
- 吉川駅北口から県道川藤野田線までを範囲とする第一排水区内の浸水被害の解消を図るため、河川管理者や電力会社等と協議を行うほか、国が整備を進めている江戸川河川防災ステーション内に設置する「水防センター」については、地域住民をはじめ様々な分野の皆さまから幅広くご意見を伺いながら、必要となる機能や平時の利活用等の検討を進めます。

## ●生涯を通じた健康づくりの推進

- 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染状況を注視しつつ、これまでのコロナ対策の3大理念である、「生命を守る」、「生活を支える」、「地域経済を後押しする」を堅持し、必要な対策を必要な時にスピード感をもって実施してゆきます。
- 「生活習慣病予防」については、特定健診とがん検診の同時実施を行うことでがん検診の受診率向上に努めるとともに、疾病予防や重症化予防にさらに力を入れて取り組みます。
- 市民の自主的な健康づくりを進めるために「健康・体力づくりポイント制度」や「埼玉県コバトン健康マイレージ」、「ウォーキングリーダー養成」をはじめとするウォーキング事業を継続して行うとともに、吉川市の魅力の周知にもつながる、農産物の生産者や各種工場を巡る「産直ウォーキング」を実施します。

主な事業費			
減災対策事業	3,527万円	吉川松伏消防組合負担金	10億8,240万円
小中学校体育館の空調設備設計委託料	4,840万円	総合治水事業	1億106万円
健康づくりの推進に係る経費(予防接種、がん検診、産直ウォーキング等の費用を含む)			3億5,974万円



### ● 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援

- すべての妊婦、子育て世帯が安心して出産、子育てができるよう、子育て世代包括支援センターや子ども家庭総合支援拠点を中心に妊娠期から子育てまでの切れ目のない支援を実施するとともに、伴走型相談支援の充実に努めてゆきます。
- 産後の母子に対する保健指導や療養支援、育児のサポートを行う「産後ケア事業」を新たに実施するとともに、令和5年2月から開始した出産・子育て応援給付金の給付を実施してゆきます。
- 児童虐待対策については、引き続き、「一人の命も失わせない」との強い思いを持って、特に低年齢の子供を取り巻きリスクの高さに注目し、関係機関との連携を強化しながら対応してゆきます。
- 「義務教育終了後の若者に対する支援」については、「若者支援の在り方検討会議」を継続開催し、関係団体と連携した相談会の実施、SNSを活用した支援情報の周知などに取り組んでゆきます。
- 経済的な理由から大学受験を躊躇してしまう高校生等を応援するため、大学受験料のサポートを社会福祉協議会とタイアップし実施します。

### ● 安心して子育てできる環境の充実

- 保育を必要とする全ての子供や家庭が安心して良質な保育を受けられるよう、さらなる保育の質の向上、保育の受け皿確保に努めるとともに、これまで改善に取り組んできた「兄弟姉妹同一保育施設入所」についても、引き続き、その希望が叶うよう丁寧な対応を行います。
- 「児童館ワンダーランド」については、特徴的な設備を活かした「プラネタリウム投影」や望遠鏡を用いた「天体観望会」のさらなる工夫と内容充実を図るとともに、小学生を中心とした子供達が、地元「吉川市」に誇りと愛着を持てるよう、関係機関と連携した事業を展開してゆきます。

### ● 学校教育の充実

- 子供達が志を持って社会に羽ばたけるよう、学力・体力の向上を図るとともに、「自制心、やり抜く力、協調性」などの数値や点数では表せない「非認知能力」の向上を目指し、特色ある教育の充実に取り組みます。
- 「ICT教育の推進」については、小学校において必修化されたプログラミング教育のための新たな教材を導入し、子供達の自由な発想を大切にしながら、目的達成に向け筋道を立てて考える力の育成に努めてゆきます。
- 学校における諸問題の解決に向けては、「吉川市スクールロイヤー」を新たに設置し、弁護士から法的かつ中立的な立場で助言をもらうとともに、教職員に研修などを行い、学校の問題対応力の向上やいじめ等への迅速かつ効果的な対応を推進してゆきます。

#### 主な事業費

出産・子育て応援事業	6,981万円	産後ケア委託料	539万円
児童虐待防止対策事業	880万円	若者支援事業	78万円
保育・学童保育に係る経費	28億7,601万円	児童館の運営に係る経費	1,879万円
プログラミング教材購入費	93万円	スクールロイヤーの設置	65万円





## ●高齢者福祉の推進

○脳活ドリルの発行や地域型介護予防教室及び運動教室の開催と併せて、民間事業所プールを活用した通所型サービスの実現に取り組むとともに、埼玉県立大学等と連携し、フレイルチェックを実施してゆきます。また、老人福祉センターの一部改修を行い、より充実した活動の場の提供に努めてゆきます。

## ●障がい福祉の推進

- 「障がい者の地域での生活を考える検討会議」では、障害者就労とグループホーム整備をテーマとし検討を重ね、市独自の就労支援策を制度化し成果をあげていることから、令和5年度においては、その「第3期目検討会議」をスタートさせ、また、「情報コミュニケーション支援検討会議」も設置し、さらに障害者支援体制を充実させてゆきます。
- 「文化芸術を総合政策に」の理念の下、芸術活動を通じて、「多様性を認め合い、誰もが活躍できる社会」の構築を目指し、引き続き、障害がある方や関係団体と共にアート展などを開催してゆきます。

## ●平和で互いを認め合う人権尊重の社会づくり

- 総合窓口等に導入した「翻訳機能付きタブレット」の活用などにより、外国人住民も地域のまちづくりにおいて活躍し、災害時も安全安心な暮らしが可能となるよう、多文化共生のまちづくりを進めてゆきます。
- 「よしかわパートナーシップアクション」に基づき、ジェンダー平等の視点を持って「多様性を認め合い、誰もが自分らしく生きることができるまち」を目指し、令和5年度は「女性とスポーツ」をテーマとして啓発に取り組んでゆきます。
- 「ウクライナ避難民支援」では、迅速に支援体制を整え、国に対し避難民の受け入れを表明しました。令和5年度においても、引き続き、ウクライナから避難してきた方々が安心して生活できるよう、支援体制を維持してゆきます。

## ●コミュニティ活動と市民参画・協働の推進

○自治連合会との協働事業である「地域課題を地域で解決するための勉強会」においては、「自治会課題」、「多文化共生」をテーマに研究・実践を進めるほか、「市民シンクタンク」や「みらいステップアップ助成金」事業など、未来につながる様々な施策を、市民と行政の「共動」により進め、「市民の幸福実感」のより一層の向上を目指してゆきます。

※ 共動…市民と行政が課題を共有し、解決に向けて共に動くこと。市長が掲げる理念の一つ。

主な事業費	
高齢者福祉の推進に係る経費 (在宅福祉の推進、日常生活の支援、 老人福祉センター一部改修等の費用を含む)	8,630万円
障がい福祉の推進に係る経費	7,786万円
コミュニティ活動と市民参画・ 協働の推進に係る経費	7,252万円
ウクライナ避難民支援事業	360万円

## ●魅力ある農業の振興

- 「下八間堀悪水路の改修」、「しんきぼりの整備」などの農業生産基盤の整備をしっかりと進めてゆく中、吉川産農産物の魅力を広め、消費拡大を図るPR活動や地産地消、農福連携、6次産業化に引き続き取り組んでゆきます。また、後継者不足や耕作放棄地解消を目的に農地の集積化・集約化を進めるため、農業者と共に、県や農地中間管理機構と連携し、「新たな農業チャレンジ」を検討してゆきます。
- 令和4年4月に策定した「農業パーク基本構想」は、現在、次世代の視点を取り入れた「都市近郊農業の確立」や「新たな農業拠点づくり」など、具体的検討を進めており、今後、地権者との協議を行いながら、事業の詳細な内容及び進出企業の決定に向けて取り組んでゆきます。

## ●賑わいある商業・活力ある工業の振興

- 令和5年度においても、新型コロナウイルス感染症、ウクライナ情勢、為替変動など、社会状況、経済状況を注視する中、市内2者以上の事業者による連携補助の制度化をはじめ、販路拡大、ブランド化、事業承継への支援、合同就職面接会の開催による人材確保などの支援に取り組みます。
- 「産業フェア」を「なまずサミット」と同日開催とすることで、より集客効果を高め、市内外の多くの方々に、市内事業者の優れた技術を発信してゆきます。
- 「三輪野江南部地区工業団地開発」については、埼玉県企業局と市との共同事業方式を優先し、引き続き、県をはじめとする関係機関との調整を進め、地権者や地域の方々への丁寧な説明とともに取り組んでまいります。

## ●環境にやさしいまちづくり

- 庁舎で使用する電力を、吉川市から排出されたごみ由来の「再生可能エネルギー100%電力」とし、「エネルギーの地産地消」、「ごみを資源として活用する取り組み」をさらに強化してゆきます。また、生ごみの減量化や粗大ごみの再利用など、ごみの減量に向けた取り組みについて検討してゆきます。

## ●吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業

- 幹線道路の暫定供用開始を行うほか、駅前広場の整備を進めてゆきます。また、新たな市の玄関口となる商業業務ゾーンでは、地域にとって魅力的な企業の誘致に取り組んでゆきます。

## ●文化芸術の振興

- 令和5年度は、文化芸術基本条例に基づく文化芸術推進基本計画の初年度であり、「文化芸術による幸福実感あふれるまちづくり」を理念に、「地域の歴史・文化の継承と活用」、「文化芸術活動の推進」、「文化芸術を活用したまちづくり」の3つを基本目標として、「生音コンサート」や「演劇プロジェクト」、「市展」、「文藝よしかわ」、「文化財展」など、様々な施策を展開してまいります。

主な事業費			
農業の振興に係る経費 (農業パーク整備支援業務委託料等を含む)	1億 1,852万円	商工業の振興に係る経費	8,084万円
再生可能エネルギーを活用した 庁舎の電気使用料	3,567万円	再生可能エネルギー推進事業	243万円
吉川美南駅東口周辺地区 土地区画整理事業	50億 9,267万円	文化芸術振興・文化財保護 に係る経費	679万円

## その他の主要な事業

### ● 公有財産の管理

- 「吉川市公共施設長寿命化計画」に基づき、市民交流センターおあしすは改修工事を、また、総合体育館は空調設備の整備を含めた長寿命化改修に向けた設計を進めてゆきます。
- 旧庁舎跡地の利活用については、「地域コミュニティを支える福祉的な機能拠点」及び「民間の活用」という方向性を踏まえ、施設整備に向けた基本計画の策定を進めてゆきます。
- 「吉川美南駅東口駅前文化芸術関連施設を中心とした公共施設整備」については、吉川市の価値を高め、新たな魅力のある文化芸術活動の拠点を創出するため、社会経済情勢などを見極めながら、民間活力を最大限に活用し事業を進めてゆきます。

### ● 道路等の整備

- 「三郷料金所スマートインターチェンジのフルインター化」や「越谷吉川線」、「三郷吉川線」、「三郷流山線」、「三輪野江地区無名橋」の整備を計画的に進めてゆきます。
- 生活道路については、路面の補修などの適正な維持管理や通学路の安全対策に取り組むほか、特に市街化調整区域においては、自治会と連動するなど、地域の要望に応え得る整備に向けた仕組みづくりに取り組んでゆきます。

### ● 公園等の整備

- 「アクアパークの再整備」や「三輪野江地内の大沢雄一元埼玉県知事の居宅跡地の公園化」について取り組むとともに、障害の有無に関わらず、すべての子供達が分け隔てなく、共に遊ぶことができる「インクルーシブ公園」の整備検討を進めてゆきます。
- 「公園や駅前等の防犯カメラ設置」については、令和4年度に吉川駅前南北ロータリーに5箇所、吉川美南駅西口ロータリーに3箇所の防犯カメラを設置したほか、市内の公園11箇所に、順次、防犯カメラを設置しています。今後は、吉川美南駅東口への設置を行います。
- 「分散型スポーツ施設の整備」については、「東埼玉資源環境組合第2最終処分場」や「吉川美南駅東口開発地域の1号調整池」における多目的グラウンド等の整備を進めてゆきます。また、屋外市民プール跡地の活用も検討し、市民が気軽にスポーツに親しめる環境を整え、スポーツを通じて「多様性への理解」、「共生社会の実現」を目指してゆきます。

### ● 市街化調整区域での課題に向けて

- 都市近郊でありながらも市民にうるおいと安らぎをもたらす田園環境などを有している「旭地区・三輪野江地区」の「地域コミュニティの維持」などへの対応として、空家の利活用をはじめ、3世代家族の同居・近居の促進や子育て世代の移住の促進などに関する取り組みについて庁内横断的な検討を進めてゆきます。
- 「公共交通課題」については、現在実施している「タクシーチケット配布」、「バス事業者への補助金」を継続しつつ、「市街化調整区域を通る吉川美南駅東口ときよみ野地区を結ぶバス路線」や、市街化区域においても、「買い物や通院の利便性確保を目的とした、道庭・中曽根地区への吉川美南駅発着路線」をはじめとした新規バス路線の充実に向けて取り組んでゆきます。

#### 主な事業費

公共施設の長寿命化事業	6億 7,728万円	旧庁舎跡地施設整備検討支援業務委託料	711万円
道路環境の充実に係る経費	7億 877万円	公園維持管理事業	2億 7,270万円
公共交通の充実に係る経費	4,415万円		

## ～市長からのメッセージ～



### むすびに

令和5年度当初予算においては、「幸福実感の向上」という吉川市のまちづくりの目標に向けて、開発・再整備などの大きな事業から、未来につながるチャレンジ事業、そして市民一人ひとりに寄りそう施策までを展開できる、「吉川市の次の10年のスタート」と位置付けられる予算編成を行いました。

そのダイジェストとして、この「主な事業のあらまし」をまとめましたが、ここに掲載されている施策は、これまでの市政運営理念に沿ったものであることは言うまでもありません。

その理念とは「市民と行政の共働」であり、ここまでの吉川市の「まちづくり」が順調に進んできたのも、市民の皆さまお一人お一人が思いを声にし、直接、私達行政に届けてくださり、そして、世代や地域や分野を越え、気持ちを一つにし、力を合わせて行動くださったゆえです。

そうした「市民と行政の共働」が、コロナ禍に立ち向かいながらも「まちづくり」を前進させるための原動力になりました。

そこに深い敬意と感謝を持ち、そして、市長としての責任と、さらなる丁寧さとスピード感をも持って、令和5年度も皆さまと共に、「幸福実感」のある、「持続可能」な、「価値ある未来」を創ってゆきたい、そう思っています。

そしていつの日か、そうした街の様子を見て育った吉川市の子供達が「自分もまちづくりに関わりたい」と思ってくれるように、また、「正しいことを正しく、真っすぐに行く」、「市民と行政が力を合わせて、みんなで進める」という「理念のバトン」を子供達に渡せるように、今後も職員と共に「理念と計画」をしっかりと掲げ、吉川市に関わるすべての方々との「共働」により、吉川市の「まちづくり」を次のステージへと進めてゆきます。

令和5年度もよろしくお願いいたします。



### 令和5年度吉川市主な事業のあらまし

【発行】吉川市  
【お問合せ】吉川市 総務部 財政課  
〒342-8501 埼玉県吉川市きよみ野一丁目1番地  
電話 048-982-5967(直通)